

第57期 報告書

QUEST REPORT

2020.4.1～2021.3.31

株式会社クエスト

証券コード：2332



クエストのロゴが変わります(2021年度中をめどに順次変更予定)

トップメッセージ



当社は今年、創立57年目を迎えます。

これもひとえに株主の皆様の日ごろのご支援ご鞭撻の賜物であり、厚く御礼申し上げます。今後も、クエストは透明性の高いグループ経営を継続し、ITによる社会課題の解決、さらに一層の企業価値の向上と持続的成長のために邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 岡 明男

第57期の総括(業績・経営体制)

第57期(2020/4/1～2021/3/31)は新型コロナウイルスの感染拡大という外部環境変化のさなか、当社の業績はおかげさまで当初の計画を上回り売上高111億円、営業利益8.7億円を達成いたしました。

また当期より監督と執行の分離や取締役体制の変更など経営機能を強化させ、来たる次の未来に向けての戦略策定や技術の仕込みを進めてまいりました。

コロナ禍で需要が拡大した領域に社内リソースを集中し事業を維持・拡大

新型コロナウイルスの感染拡大により先行きの見えない状況が続く中、当社としては既存顧客へのサポート体制の強化を行い新規案件の獲得や請負開発の着実な実行により収益性を高めるとともに、クラウドサービスやネットワークソリューション等、需要の高い分野

に社内リソースを集中しました。さらにインバウンドセールスの拡張およびデジタル化推進特需の取り込みにより、事業を拡大しました。

より高い収益性と持続的な成長を実現するため Quest Vision2030を策定

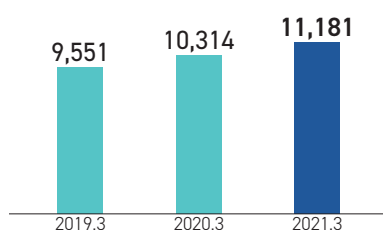
今後クエストが持続的に成長していく企業となるためには、株主の皆様をはじめ、当社顧客、パートナー、社員などのすべてのステークホルダーに当社を深くご理解いただくことが重要と考えております。またより高い収益性を実現するためには既存の事業だけでなく新たな事業への参入や技術の獲得が必要です。

そこで、10年後の2030年を見据えた中長期計画「Quest Vision 2030」を全社プロジェクトで策定し、当社の存在意義や経営目標を新たに決めました。大方針としては企業価値4倍実現に向けて確実に計画を実行してまいります。 ➡ 計画に関する詳細は中面をご覧ください。

Financial Highlights 業績ハイライト

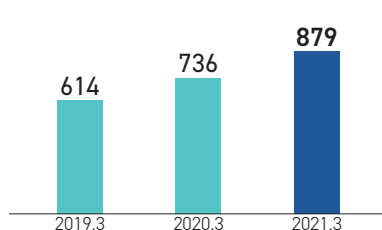
売上高

(単位：百万円)



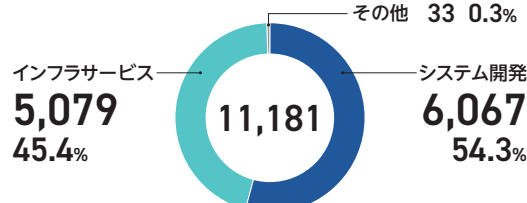
営業利益

(単位：百万円)



セグメント別売上高

(単位：百万円)



※「その他」の区分は、報告セグメントに含まない受託計算サービス事業および商品販売事業を含んでいます。

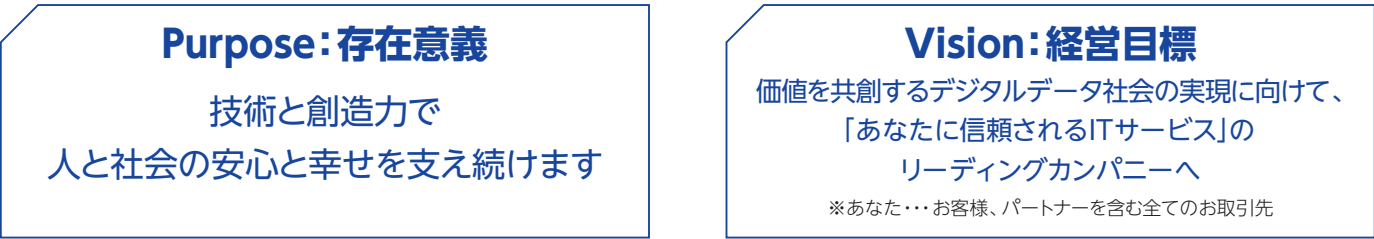
2030年度に企業価値4倍を達成するためのストーリー:QCSV(Quest Creating Shared Value)



中長期計画とブランドの目指す姿

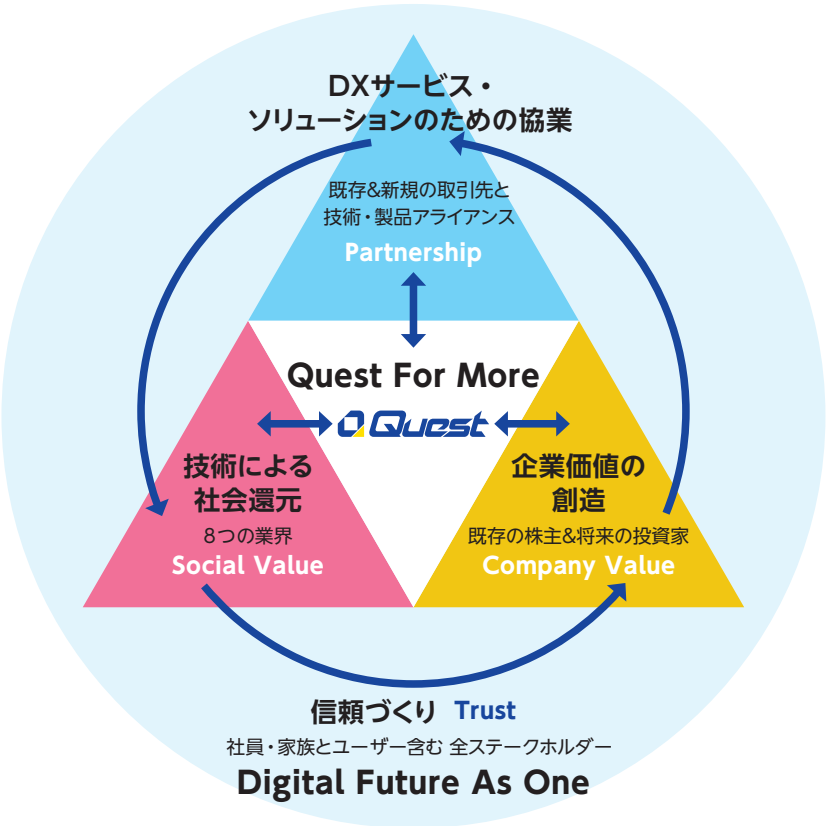
あるべき姿の追求と経営目標

クエストは2030年に向けて「技術の探究」「ともに働く仲間の探求」を通じて持続的な社会の実現に寄与するとともに、社員がより働きがいを持って個々の能力を発揮できる会社を目指します。当事業年度に発足した中長期計画プロジェクトでは社員の意見を取り入れながら9か月以上にわたって議論を重ね、クエストのあるべき姿について徹底的に追求し、存在意義 (Purpose) や経営目標 (Vision) を定義しました。



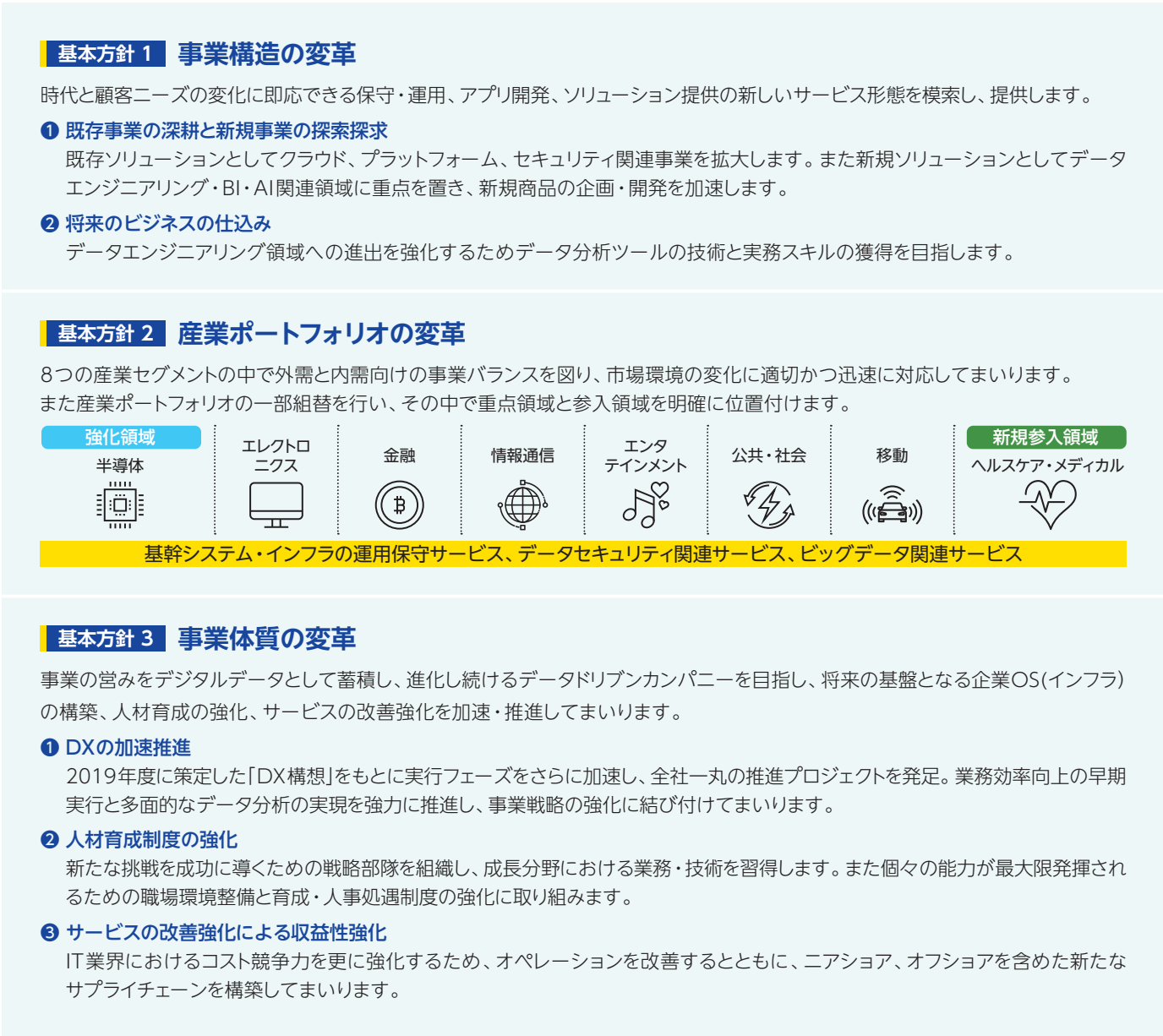
クエストの目指す姿 “Quest For More”

クエストは、株主の皆様に対して企業価値の創造と向上によるCompany Valueの追求、お客様業界や産業社会に対して技術による還元 (Social Value) をお約束いたします。またソリューションに付加価値をもたらすビジネス・アライアンスパートナーとの協業を推進してまいります。これを包含するブランドスローガンとして「Quest For More」、全ステークホルダーとの信頼関係を構築するブランドプロミスとして「Digital Future As One」を策定いたしました。Digital Future に向かって、お客様も、パートナーも、社員も、家族も、ともに1つになり、ITでお客様の業務をより効率よく、社会をより便利に、さらに創造的に、もっと幸せにするためのMoreを探究してまいります。



新中期経営計画 基本方針3つの変革

2021年度を初年度とする中期経営計画は、2030年度を最終年度とする「Quest Vision2030」の第1期でもあります。持続的な成長と新たな強みを生み出す準備と仕込みをこの期間で入念に行います。中期経営計画の柱となる基本方針は以下の3点です。



TOPICS “Quest for...”

来たるデジタルデータ社会の実現に向けて

これまでのITの進化やデジタル化の波は、人々の様々な活動や作業を効率化、自動化することで貢献してきました。今後は膨大なデータを活用することで、予測や判断まで自動化される時代が現実となってきます。その結果、社会や企業活動はさらにスマート化し、製造、流通、金融、医療、生活など様々な分野で多くの人々がデジタル化によって提供される新しい価値を享受できるようになっていきます。当社としては成長領域への挑戦としてデータエンジニアリング領域へ参入し、「データビジネス」として拡大・成長させることで新たな事業の柱として成長させてまいります。こうした成長領域への技術獲得や事業体質の改革に向けて積極的な投資を行い、来たるべきデジタルデータ社会の実現の一翼を担ってまいります。

会社概要／株式情報／株主メモ (2021年3月31日現在)

会社概要

社名	株式会社クエスト
設立	1965年5月
資本金	491,031,000円
事業内容	システム開発・保守、インフラサービス、IT Value Up サービス、ビジネス・プロセス・アウトソーシング
取引銀行	三菱UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ銀行
従業員数	821名 ＊パート・アルバイト・嘱託社員を除く

役員一覧 (2021年6月23日現在)

取締役会長	清澤 一郎
代表取締役 社長執行役員	岡 明 男
取締役 上席執行役員	兒島 賢 志
	山内 豊 志
	金井 淳 淳
	小泉 裕 裕
取締役	佐藤 和 朗
取締役 監査等委員	吉村 卓 士
	上柳 敏 郎
	宗司 ゆ か り
上席執行役員	鈴木 裕 二
	鎌田 智 智
執行役員	リチャード・ホウ
	真鍋 福 伸
	杉本 強 強
	松本 浩 昭
	奥村 律 夫
	谷村 徹 徹
	畠中 幸 一

株式状況

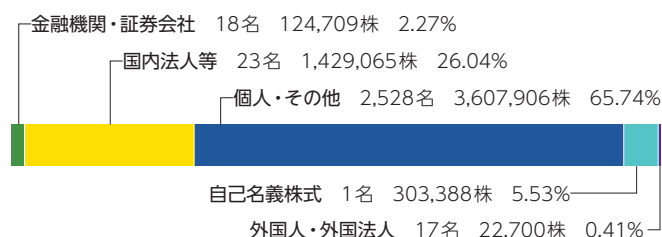
発行可能株式総数	9,560,000株
発行済株式総数	5,487,768株
株主数	2,587名
1単元の株式数	100株

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
内田 廣	837	16.15
有限会社内田産業開発	446	8.60
クエスト従業員持株会	365	7.05
花輪 祐二	293	5.65
SCSK株式会社	268	5.18
株式会社ユニリタ	265	5.11
株式会社スカラ	254	4.89
有限会社福田商事	165	3.18
内田 マサ子	150	2.89
内田 久恵	150	2.89

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
中間配当の方法	取締役会の決議により、中間配当を実施する場合は、中間配当基準日の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いします。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

株式会社クエスト

東京都港区芝浦一丁目12番3号 03-3453-1181(代表)
お問合せ先: 経営企画部 Email: ir@quest.co.jp

